

平成18年度第3回食育推進会議会議録

1 日時

平成18年11月20日(月)午後3時から午後3時45分

2 場所

愛知県議会議事堂 5階 大会議室

3 出席者

委員27名

説明のため出席した者 農林水産部次長はじめ16名

4 議事の概要

(1) 会長あいさつ

第3回の食育推進会議、御案内を申し上げますところ、お忙しい中を格別御都合つけていただき、各先生方には御出席をいただきありがとうございました。

日頃、県政全般にわたって大変な御支援や御理解をいただいておりますが、この食育につきましても、これまで熱心に御審議をいただき、今回で3回目ということになります。この間、精力的に御審議をいただき、検討の中身もかなり進展し、熟度が増してきたところです。

これまでの皆様方の御支援に改めてお礼申し上げたいと思います。前回、第2回目にも色々と御意見をいただきましたし、2回目が終わった後、1か月間にわたりまして、パブリックコメントを実施いたしました。このパブリックコメントでは100件以上、123件の御意見をお寄せいただきまして、こうしたパブコメの反応などを見ておりましても、食育という問題についての県民の皆様方の関心というものが伝わってくる気がします。本当にありがとうございました。

今日はこうしたパブリックコメントの結果や前回、御意見いただきました食育推進計画の中間案について、さらに御議論を展開していただくわけですが、大羽委員さんに座長を務めていただいております検討会で、この食育推進計画の御議論を進めていただいたところですので、改めて御審議をいただきたいと思っています。これまで各団体の皆様にはそれぞれのお立場で食育の推進を進めていただいておりますが、今後、全体として県がどの方向にどのような施策を展開していくのかという最終取りまとめをしていくわけございまして、我々も責任の重大性を認識しているところです。ぜひともいい計画にしていきたいとそんな意気込みですので、第3回目ということで最終案の御審議を含め、よろしく最後までお願い申し上げます。一言ごあいさつを申し上げ、私からのあいさつとさせていただきます。

(2) 会議録署名人の指名

高平委員と稲垣委員を会議録署名人として指名

(3) 議事

「愛知県食育推進計画」について

【愛知県食育推進計画検討会での検討状況について】

(大羽委員：愛知県食育推進計画検討会座長)

本日お出ししたこの計画案は、前回の推進会議でいただいた御意見にパブリックコメントで寄せられた意見を整理、反映させたものです。検討会では各メンバーがそれぞれの立場で慎重に検討しながら会議を重ねて来ました。その結果、本県の特徴を背景として、健康な体、豊かな心、環境に優しい暮らしという3つの基本を軸に、県や関係する団体の個別具体的な取組を盛り込みながら、体系的にまとめることができたと思っています。

また、私自身もこの計画を通して大変勉強させていただいたことを感謝申し上げます。計画案の内容については、後ほど事務局から説明をお願いしたいと思いますが、検討会では、最後にある委員から食育の推進について、食育は1年やればよいというものではなく、続けていくというつながりが大事である。また今の取組をこれまで以上に幅広くするために、関係者の連携というつながりを大事にしたいという発言がありました。食育の推進に関してはすでに様々な取組が行われていますが、今後の食育については、この計画を皮切りにそれぞれの立場での取組をするとともに、関係者が連携して広がっていくよう努力をしていきたい。検討会を代表してこれまでの討論の内容をお伝えさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

(会長)

座長を御務めいただいた大羽委員からこれまでの経過などお話をいただきました。ありがとうございました。それでは事務局からこの計画の説明をいたしたいと思っておりますので御聞き取りください。事務局お願いします。

【事務局の説明】

資料1から資料3により「愛知県食育推進計画」の概要について説明

【質疑等】

(A委員)

大羽座長の下、いろいろ検討してきました、多少範囲は広いですが、あらゆるものを網羅できて、非常にいい案ができ上がったと、自画自賛ではないですがそのように思っております。あとはより具体的なところで、特に子どもは目に見える形でお客様、あるいは地域住民、たとえば小学生、学校に通っている児童さん、それから親子様等へ普及、PRしていきたいと考えております。

チェーンストア協会としても、既に例えばポスター、リーフレットなどを作成しており、店頭に掲示したり、お客様の手に渡るようにしております。それと併せてビデオテープ、CD等で店内で食事バランスガイドの説明をしたり、パネルを作って具体的に、

例えば「1日にみかん2個食べますと予定の果物が摂れますよ」とか、より分かりやすい形でPR活動をさせていただいております。

今後はこういった食育推進計画を具体的な形でより目に見えるところで、名古屋市もそろそろ策定したいということで要請を受けておりますので、今度は市と連携する形で見える形でこれを具現化していこうと考えております。

(会長)

ありがとうございました。消費者に大変近い御立場での積極的なPRなど御話いただきました。ありがとうございました。

(B委員)

私たち10名の検討委員は5月30日の第1回以降、4回を経まして今日、この食育いきいきプランを皆様にお示しすることができました。県の職員の方たちの並々ならぬ御尽力に深く感謝いたします。

また、私たち食生活改善推進員はこの計画の中にきちんと位置づけられ現在3,300人いる会員の大きな励みになるのではないかと考えております。今日も午前中、ヘルスサポーター21事業で女子高生30人を対象に食べることの大切さを伝えながら調理実習をしてきたのですが、その中で「みなさん今日ご飯を食べてきましたか」と(聞いたころ)、5人の人しか食べてこない。「何を食べてきましたか」と聞きましたら、「ジュースと菓子パン」との答えで、これが食事なのかなと。

この(計画)中で、私たちはいっぱい希望を書き、こうなったらいい、これが大事なんだということを書いてきたんですが、現実はなかなかそんな風になっていないんだなと。これから、この現実をどう踏まえて、この中身をどう実践していくかが大きな問題ではないかと感じました。今日御出席されています団体の皆様からの連携をいただきながら、人が本当に元気な愛知を目指し、この計画そのものが生きた文字になるような活動を私たち食生活改善推進員も皆様と一緒に、県の職員の方の御尽力をいただきながらやっていきたいなと、今、思っております。

(会長)

ありがとうございました。検討会で御尽力いただいた御二人の委員から御意見をいただきましたが、どなたでも結構ですので、他に御意見、御質問などございましたら御発言をお願いします。

(C委員)

私どもは、学校給食に携わっている協議会で従来から食育を実践してきました。この食育推進計画ができ、体、心、環境3つの柱を意識しながら、今後さらに一歩進んで実

践を行っていくということで全会員が意思統一しました。

たとえば、学校給食で地場産物を使用するとか、地産地消の関係では、地元で生産される食材を学校給食に活用する地産地消の日に、農業に携わっている方々の御苦労を子どもたちに紹介したり、直接、生産されている方々を子どもと一緒に学校給食を食べる会食会に招いたりする場を設け、農業に携わっている御苦労とか、自分たちが毎日食べている食事がいろんな人の力を借りながら、多くの人の御苦労で出来上がっているという感謝の気持ちを持つ機会を作ったりとか、そういうきっかけを作っています。

ある学校では農業に携わっている方に、「いつもぼくたちわたしたちに安全・安心の作物をありがとう」というような手紙を送ったり、作文を送ったりして、心の視点からの交流を図るきっかけとなっています。身近で採れる食材が安全・安心であるということをもPRしたり、身近で採れるということが、輸送に時間、エネルギーが節約できて、環境の面からもよいという視点を持って、PRしようということで、これも心、環境、体の視点で様々に行っていこうとしています。

また、環境に配慮した生活が望まれている現在です。その中で学校給食の食べ残し、牛乳の飲み残しが今とても深刻な問題になっています。学校給食は各学年の年齢に合わせて（必要な量を作っており）、全部食べて丁度よい栄養が入ってくるんだということを子どもたちにPRしています。食べなければ体にとってもよくないこと、食べ残しが産業廃棄物としてお金を払って処理をする、たとえゴミとして燃やしても、ダイオキシンの問題で環境汚染になったり、ゴミとして処理するにも経費がかかることなど、環境の面からも考えていったらどうかというきっかけを作りたいと思っています。

食育推進計画の3つの柱を今までの実践を通しながら、視点はずさないように子どもたちにPRしていこうと思っています。農業生産の方が体験学習で田んぼで米を作ったり、畑で作物を作ったりする講師をされていますが、子どもたちに低農薬とか、化学肥料を使わなければ虫がいっぱいつくんだということも教えていただきながら、やがてその子たちが大人になって消費者側に回ったときに、スーパーで並んでいる虫の喰った野菜にも手を伸ばせるような、これは安全、安心なんだという視点から手を伸ばせるようなことで、生産者の方の力を借り、後に子どもたちが生産者の方たちにお返しをするような、そんな体系を作っていければいいと思っています。

特に学校では今年10名の栄養教諭が誕生しました。家庭と地域と学校のコーディネートの役割を担っています。現在学校栄養職員も多くの者が栄養教諭の免許を取得しています。今後少しでも多くの任用をよろしくお願いします。

（会長）

現場のお立場で、積極的な取組など紹介いただきありがとうございました。

(D 委員)

スローガンの募集について、愛知県中から募集するというので、たぶん愛知県中の学校等にも募集されることになると思いますが、そういった募集は大変多いので、できれば食育については、子どもと保護者が一緒に考えていただくようなことができると思います。それにあたって、できれば(親子でできるように)学校で宿題として出していったらどうか。一緒に考えてくださいということを通して、ぜひ、これだけの広い内容のあるものを告知するための、スローガンの集め方等もご検討いただければと思います。

(会長)

どういう形がふさわしいか、今の御意見も参考にさせていただきながら検討したいと思います。

(E 委員)

検討委員の皆様御苦勞様でした。岩田委員もおっしゃっていたように、非常によくまとまったプランが出来上がったと思います。大羽委員からもお話があったように、各関係団体の協力がこのプランを生きさせるかどうかのポイントになると思います。

パブコメの意見も生かされたと思います。資料1の4ページ上「もし達成していなくても、ごまかしてしまえるようものでなく、だめならだめでしっかり反省できるようにしてほしい」という意見に対し、修正案でしっかり検証して取組の改善をするということもまとめてあるので、押さえもしっかりしていると思います。

資料3の13ページ下の「ファーストフード」は「ファストフード」が正しいので確認をお願いします。

(会長)

積極評価も含めて御意見ありがとうございました。「ファーストフード」と「ファストフード」をよく確認しておいてください。

他の委員さんからの御意見はありますか。意見出尽くしたということでもよろしいでしょうか。

何人かの方から御意見をいただきましたが、この計画案に対しては一定の評価をしていただく前向きな御意見ばかりだったと思います。つきましては、改めて議題の愛知県食育推進計画について、お示しした内容で御了解いただくことで御異議ございませんか。

(異議なしの声)

御異議ないようでございますので、皆様の御了解を得たものとして今後この推進計画を進めてまいりたいと存じます。

以上で予定した議事は全て終了いたしました。計画は一定の形が出来上がりましたが、先ほどお話もあったように、これからがいよいよスタートです。まさに食育をこの愛知県で実践していかなければならないと思っています。そのためには、ここにお集まりいただいた各界、各分野をそれぞれリードする皆様方に、今後ともいろいろと御指導、御助言、お世話をかけることが大変多いと思いますし、また、県民運動にしていくためには、それぞれの地域やお立場でこの食育のことを御吹聴いただいて、積極的にいろいろな活動が湧き上がってくるようなそんな仕掛けも必要だと思っていますので、引き続きの御協力をお願いいたします。

以上でこの会の進行を終らせていただきますが、重ねて幾重にも御協力いただきましたこと、お礼申し上げ、終らせていただきます。ありがとうございました。